

Okahata

NEWS LETTER

vol.25

2022
08

この夏は、オレゴンから踏み出します。

また、一歩。

オレゴン州最高峰
Mt Hoodから

暑中お見舞い
申し上げます。

In case you missed

今月の **Okahata News**

 Click

マークを
クリックして
WEBへ

CONTENTS

HEADLINES

2022.08

化学品

先月もご紹介した、萩田渾身の「**産業消臭ブログ**」にコソッとショート動画を追加。サービス立ち上げ準備中につき、小出しでスマセン。ご興味あれば、ぜひ担当営業に一声、お掛けをお願いします!

興産 ブログ





NEW!

- **工場の臭気対策** ショート動画追加してます 
(動画は、最後までスクロールお願いします)



フットウェア

くつ ナビ

- **夏といえば、マリンシューズの選び方!** 
- **再生繊維とは** 
- **土に還るスニーカーとは** 
(実は新入社員Kのデビュー作、なかなかよく書けているので、ぜひクリックを)
- **反響の多かったヒコみづのさまとの、Smile Shot Project.** 

最優秀賞の彼女へのサプライズは、なんと、**ゴルフシューズのトップブランドさまへのプレゼン機会!**(ブランドの皆さま、ご協力ありがとうございました) 彼女の作品が、お店の棚を飾る日が来るかもー。

▶ **シューズポストオンラインに、** 
ヒコみづのx岡畑の特集記事を組んでいただきました!

春夏秋冬関係なく、くつナビをよろしくお願いします 

7月オレゴン出張:

イノベーション 食らいつき 報告

Written by 米本 弘



米本です。

米国の取引先がビジターとの対面会議を6月から再開。“イノベーションに食らいつく”我が社との対面をずっと心待ちにしていた顧客からの要望に応じるように訪米。世界陸上2022開催地に、2年5か月ぶりに戻ってきました。

世界最先端のプロダクト開発現場。通常の靴開発フェーズよりもずっと手前の、**クリエイション段階**。妄想/構想を形にしていく、最新素材/靴サンプルなどの現物を前にしての、一番熱いクリエイティブ・ディスカッションの場にお誘いを受け、“そんなことまで考えてるのか(驚愕)”的極秘情報付きで、大量の宿題をいただけた、サイコーの旅でした。

column 1

コロナ対策：戸惑いの序盤戦

日本モードのまま現地入りすると、“おお久しぶり”と、マスクなしでのハグと握手攻めにあたふた。アルコール消毒液でサッと手洗いしようにも、消毒設備は置いてない。もうみんな感染したし、集団免疫つけて前に進んでるよっと言いつたれて、戸惑う序盤戦

取引先との会議スタイルは、完全にNew standard。週三出勤体制に合わせて、**一部バーチャル参加者有りのハイブリット会議が当たり前**。会議を仕切るリアル出席者は現物、素材感を動画で撮って、バーチャル参加者に共有したり、運営もいたってスムーズ。すべての会議室にバーチャルシステムが設置、またオフィス内の電話ボックス大の個室ブースに陣取りweb会議をしている方もよく見かけます。

淡々と進むバーチャル会議とは比べ物にならないほど、“クリエイション”を推進する人の情熱、熱量がピンピンに伝わる、充実したリアル会議の日々。出席者お隣同士のこそこそ話で、“えっ、それってこういうことなの?”から新しい掛け合いが生まれ、**どんどん加速していく議論**。“そうそうこれこれ”と思った瞬間に、

現物を引っ張り出すことで得られるより、正確な方向性。クリエイティブな企画開発会議ならではのリアルの良さ(日本からのバーチャルだと振り落とされるスピード感)を認識した次第です。

弊社岡畑の釣りの話でいえば、魚がいるところにきているのにその存在に気づいていない、バーチャルではそんな機会損失があったんだろうな、と考えさせられました。今回、お会いしたクリエイション、ものづくりの皆さんが、“もうバーチャルはええわ”って口々にいていたのが印象的。

・・・リモートワーク好き(出社嫌い?)アメリカ人でも、クリエイティブは違うってことですね。

column 2

コロナ対策:後は野となれ山となれ

会食多めの濃密な滞在でしたが、会話も濃厚なら、距離も近い!密を避けるだの、なんちゃらディスタンス(黙食なんて恥ずかしくて書けない)はどこへやら。フォーク、ナイフはあるものの、手で掴むおつまみも多い国。指を口でしゃぶって、さらに次の掴みに手を出して。飛沫だの唾液だの、もうそんなこと気にしてられないほど。



海外渡航社員が口を揃えて言う、あとは“野となれ山となれ”精神に完全適応後、現実に戻されてくられるのが、(恐怖の)帰国前PCR検査。なんちゃって感の強いドライブスルー検査(公式施設笑)で、無事陰性の結果を得たときはホッと一安心。今は元通りの日本型マスク生活ですが、“野となれ山となれ”が少し懐かしい、かも。

と言いつつ、8月中旬、Material Shows参加の為に、オレゴン再出張中です



最後に一つご報告

岡畑興産、いよいよ北米進出!

長年、出張ベースでイノベーションに食らいついてきましたが、いよいよスタッフ常駐へ。

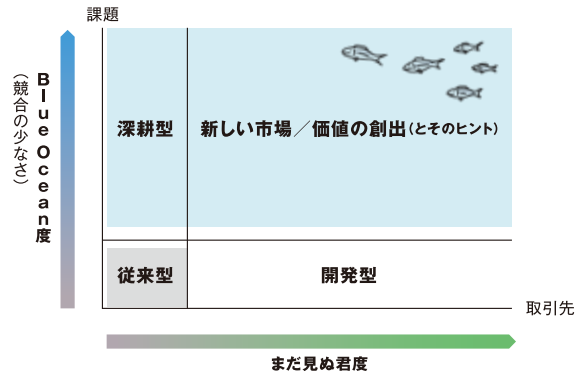
日本、台湾(からのアジアの各拠点展開)に加えて、イノベーションの源、オレゴンに
念願の大きな一歩を踏み出しました。

社長の “駐在員のすゝめ”

岡畑典裕

（おなじみの）

【“まだ見ぬ君”と課題のマトリックス】



マトリックス上段のブルーオーシャン総取りを目指して！
オレゴンに駐在員を送り込むことを決めました。ばちばち。



*表紙で素敵な笑顔を決めているエース、マスタング木下さんをご紹介



木下からひとこと；

今回の出張では、2人乗りでいいやとレンタル手配したのは、フォードのマスタング。コンバーチブルのガチスポーツカーでした。。。知らないって怖いですね。失敗から得るものも多いので、常にチャレンジ。オレゴンでエースに成長する木下を見守っていただければと。。。

★社長の補足：週末サッカーとキャンプに勤しむ、爽やかスポーツマンです。

さて、弊社内でよく使われる言葉に、

具体と抽象／俯瞰(を往復せよ)^{*}というのがあるのですが、

※経営学者の楠木建さんがよく使われている言葉

具体とは:

自分目線。とにかく前に進むための方法論、Howの話。

抽象／俯瞰とは:

相手目線でまとめ直す。地図／客観情報で現在地チェック。お客さまのお役に立っているのかというそもそも論(Whyの話)に立ち返る(そもそも前進でよかったんだっけ?とか)。

気をつけないと、営業や開発現場は、“具体”と“思い”偏重型になりがち。木を見て森を見ず、ブルーオーシャン気分
で左下に糸を垂らし続ける現象=ONL23 [Click](#)
逆に、抽象/俯瞰ばかりだと、釣り糸垂らさず、ウンチク垂らすだけの人になりがち。



→具体の多い現場は、定期的に俯瞰の機会を。

→ウンチクばかり人は、たまには釣り(具体)でも、いかがでしょうか?

駐在員とは:

回り道しましたが、**駐在員とは**、森(海外／事業)に住みつつ、木々(日本／案件)の面倒も見るポジション。若くして、**具体と抽象の両方を任せてもらえるなんて、超役得!** 営業案件全てに絡みつつ、事業目線で優先順位/やらないことも決めなければならない/決めることができる。そして何よりも、若いから失敗が許されるという特権付き(程度による 笑)。日本代表、岡畑代表の木下さん、その昔林業で栄えたポータランドの森と木の中で、ナイスゴール(と失敗)かましてください。

■ 編集後記

ありがとう！岩波ホール

(社内報Gazette2022年8月号より転載)

初めて映画館で映画を観たのは小学校の低学年だったと思う。映画好きの叔母がディズニーの「シンデレラ」を観に連れて行ってくれた。暗闇の中で観た映像、ロビーに飾られていたガラスの靴と帰りに初めて食べたソフトクリーム(我が家では市販のおやつは食べさせてもらえなかった)の冷たさと甘さが今でも脳裏に鮮明に残っている。

いつの頃からか一人で映画館に通うようになった。中学、高校では一人で映画館に行くのは喫茶店に入ると同様に校則違反で、生活指導の先生に目を付けられていたが、かまわず通っていた。はじめはいわゆるロードショーを中心に観に行っていたが、だんだんとミニシアター映画に魅せられていった。その眼を開いてくれたのは、神保町駅に直結していた岩波ホールだった。1968年に多目的ホールとして設立された同ホールは74年に「エキブ・ド・シネマ」運動を開始し、それまで日本で紹介されることが少なかったアジア・アフリカ、欧米の名作、秀作映画を次々と企画上映した。

少し早めに行って切符を購入し、映画を観る前に古書店街を散歩。映画を楽しんだ後には大好きな喫茶店でコーヒーを楽しみつつ余韻を楽しむ……。至福の時であった。ムービー&リーディングノートを綴り始めたのもその頃からだった。それらは今でも私の「雑記」の基礎となっている。映画を観ることによってその国を知り、時代を知り、文化を知ることができた。その核であった岩波ホールが7月29日閉館した。観客の高齢化や映画がパソコンやスマホで簡単に観られるようになったことに加え、コロナの影響もあって厳しい経営を強いられていたのは知っていたが、それでもミニシアターの最高峰であった岩波ホール閉館の報はショックだった。

タジット・レイ監督の「大樹のうた」からベルナー・ヘルツォーク監督の「歩いて見た世界 ブルース・チャトウインの足跡」まで、66の国と地域の274作品のどれほどを観ただろうか。29日の最終回上映前に岩波律子支配人が登壇して「上映を通じて映画は文化だと確信した。苦勞している他の映画館にも足を運んでほしい」と呼びかけた。アップリンク渋谷も閉館し、コロナ禍の中、ミニシアターはどこも苦しい経営を強いられている。閉館の連鎖を避けるためにできることは、通い続けること。いつの日か「岩波ホール」が再開することを祈りたい。(kiki)

ニュースレター バックナンバーはこちら

 <https://okahata.wixsite.com/oksite/onl>

ホームページでパートナー登録いただければ、ダウンロードしていただけます。

 https://okahata.co.jp/onl_member/login.php

岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2022年8月20日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2022.8.20 / Issue 025

© 2022 オカハタとアイデアと